

緊急事態宣言の再発令に対するコメント

神戸商工会議所

会頭 家次 恒

首都圏に続く、大阪・兵庫等への緊急事態宣言の再発令は、足許の感染急拡大をくい止め、医療崩壊を回避するためにも、やむを得ない苦渋の判断であると受け止めている。

一方で、昨春の宣言発令以降、地域経済は大きく疲弊し、とりわけ飲食・宿泊等サービス関連事業者の多くは、既に経営体力を奪われた状況にある。今回の再発令の制限範囲は、集中的・限定的というものの、そこにさらなる追い打ちをかけるものであり、倒産・廃業の急増を防ぐためにも、一日も早く感染拡大を抑え込み、早期に宣言解除されることを強く願う。

政府、自治体においては、制限を直接強いられる業界はもとより関連する多くの事業者も含めて、事業継続がはかれるよう万全の支援を講じるとともに、完全収束までの長期戦を睨み、ワクチンの実用化、医療提供体制の抜本的な強化に向けて全力を尽くしてもらいたい。

令和三年一月十三日